教育機関

1　熊本市教育センター…… 107

2　熊本市立図書館…… 112

3　熊本博物館…… 118

1　熊本市教育センター

〒860-0001 熊本市中央区千葉城町２－35
TEL 096-359-3200 FAX 096-359-7917

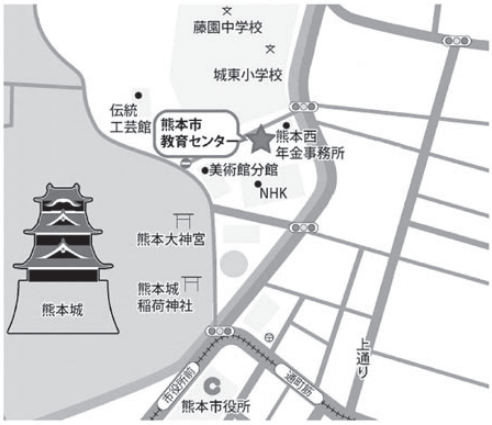


特　色

生涯学習の視点に立ち、指導者の資質の向上、教育環境の整備、さらに学校教育、社会教育の充実や連携を図る拠点施設として、調査研究、研修講座の開設、資料収集や活用、教育情報ネットワークの充実、各種教育相談事業等を実施している。

沿　革

昭和２６年　４月　熊本市教育研究所設立（旧熊日会館）
　２７年１０月　旧偕行社別館に移転（現 NHK 放送局）
　３２年　３月　旧公会堂に移転　（現市民会館）
　３５年１１月　旧市庁舎内に移転(現市役所所在地)
　４５年　５月　旧市庁舎別館に移転（旧九電倉庫）
　５４年　３月　旧家庭裁判所に移転.
　５６年１１月　熊本市役所花畑別館に移転
　６２年　９月　現在地に熊本市教育センター開設
平成２４年　３月　教育相談事業を熊本市こどもセンターに移設
　２４年　４月　指定都市教育研究所連盟加入



施　設

（１）建築規模　敷　地　　１，５００．９２㎡
　　建　物　　鉄筋コンクリート４階建　延床面積　２，０２０㎡
　　駐車場　　自動車約２５台
（２）施設構成　１階　多目的研修室（１室）、研修室（４室）、所長室、事務室
　　２階　研修室（２室）、図書・資料室、ICT 研修室
　　３階　研修室（３室）、AV スタジオ、e-net 支援室
　　４階　大研修室
　　研修室分室　城東小学校内１室

事　業

（１）企画・広報に関する事業

教育の今日的課題や学校が当面する課題に対しての積極的支援、教育情報の積極的な提供と発信を行う。

○　広　報

所報「オアシス」、研修案内、市政広報ラジオ番組「おはよう熊本市」、教育センター Web ページの企画・制作

○　事業計画

教育センター全体に係る事業等の企画・調整、立案

（２）調査・研究に関する事業

学校教育、社会教育に係る教育機関と協力し、教育上必要とする調査研究、教材開発、情報提供等を行い、成果の普及及び教育に関する資料の収集に努める。

○　研究員活動

平成２４年度委嘱研究員　１７部会５４人（委嘱期間Ｈ２４．４～Ｈ２６．８）

※研究発表会の実施（平成２６年８月）

〈全体テーマ〉『生きる力をはぐくむ学校教育の推進』

○　教材教具等の開発

・先生チャンネル（動画による教育番組の制作）の作成
・デジタル教材開発（情報モラル、汎用型教材、リンク集）

○　教育情報の収集・提供

①資料提供

・指導案、研究紀要等の収集、保管、提供（データベース化）
・書籍や教育資料の収集・整理及び閲覧・貸出し

②教材作成及び機器の貸出し

・拡大印刷機、カラーコピー機等による教材作成

③Web版教育論文集の配信

④教科書センターに関する事業（教科書の保管・閲覧）

・教科書展示会　平成２５年６月１４日～６月２７日

○　教育の情報化

教員のICT活用指導力の向上、児童・生徒の情報活用能力の育成及び情報モラル教育の推進
～地域教育情報ネットワークシステム（e-net）の活用～

①教育の情報化推進のための研究・開発

・教育情報及び指導法等の情報提供システムの開発
・情報モラル教育の推進のための指導法等の研究
・研究指定校（ICT活用）による研究
・校務の情報化推進のための調査研究

②研修プログラムの開発

・電子黒板、デジタル教科書等ICTのよさを生かした授業づくり研修及び校内研修支援のためのパッケージ研修の開発
・情報活用能力育成のための研修開発
・情報モラル教育の啓発と普及研修開発

○　少人数学級・少人数指導による指導法の研究

①研究推進

・少人数学級・少人数指導に関する研究推進委員会会議の実施及び特別研究員による研究
※５校（各区から１校）、１０人（１校から２人）の特別研究員による少数指導における指導法の研究（算数・数学・英語）

・研究指定校（少人数学級・少人数指導）による研究

②研究内容の共有化
・区毎（５区）で実施する公開授業及び少人数指導担当者研修
※「時間・空間・仲間」を生かした授業づくり
・パッケージ研修による校内研修支援

○　平成２５年度教育論文募集
・対　　象　　熊本市立の幼稚園・小・中・高等学校、総合ビジネス専門学校に勤務する教職員
・締　　切　　平成２６年１月１０日（金）
・結果発表　　平成２６年２月
※特選・準特選及び奨励論文は、熊本市教育センターWebページで公開

○　各教育センター・教育研究所との連携
・全国教育研究所連盟、指定都市教育研究所連盟、九州地区教育研究所連盟、熊本県教育研究所連絡協議会に加入
・熊本県教育研究所連絡協議会研究発表会山鹿市大会（平成２５年８月９日開催）に参加

（３）教育情報ネットワークに関する事業（ｐ.５４教育の情報化の推進参照）
教育センターを拠点として、学校及び公立教育施設を光回線で結び、教育情報を共有するシステムを構築している。また、情報社会の中で子どもたちが主体的に対応できる資質や能力を身につけるために、教職員の研修を充実させ、ICTを活用した授業の改善を図るとともに、子どもたちの情報活用能力の育成に努める。
教育の情報化推進を図るために、安定性、セキュリティが確保された熊本市地域教育情報ネットワーク及びICT環境を整備する。
○　企　画
・教育の情報化推進に向けての企画調整
・ネットワーク及びICT環境整備
○　管　理
・ネットワーク等管理
・情報端末管理及び学校対応
○　運　営
・教育センターホームページ運営
・教育の情報化に向けたICT活用の推進
・ヘルプデスクによる授業及び校内研修等の支援、メンテナンスやトラブル対応

（４）研修に関する事業
研修を通して、政令市熊本の教育目標実現のため『教育都市くまもとの教職員像』を目指し、教職員の資質や能力、実践的指導力の向上を目指すとともに、学校教育と家庭教育、社会教育の連携を図る。

○　学校教育関係研修　テーマ【教職員の資質や能力、実践的指導力の向上】

①　SD活性化支援研修

教科・領域等研修	小・中学校特別活動 小学校算数・中学校数学 小・中学校国語	小・中学校道徳　小学校体育 小学校外国語活動　中学校技術科 小・中学校理科　7講座
教育課題研修	ストレスマネジメント教育　ソーシャルスキル教育 カウンセリング（2）　保護者カウンセリング　5講座	
情報化専門研修	学校ホームページ更新支援　成績処理入門 指導案・論文・通信作成　プレゼンテーション入門 道徳での情報モラル教育の授業づくり　4講座	
特別支援教育研修	発達障がい（3）　通常学級における特別支援教育 発達検査（WISC-Ⅳの概要）　5講座	
トワイライト研修	授業づくり研修 教育の情報化研修 コーチング 教職員の心の健康講座	4講座 9講座 4講座 2講座
授業づくり研修	授業づくりセミナー	1講座
教師塾「きらり」	講師招聘授業 師範の指導授業 塾生の研究授業 実技講座 OBOG講座	2回 26回 75回 13回 7回

②　OJT推進研修

指　定	研究指定校　特別研究員　研究員活動
派　遣	パッケージ研修（情報　授業づくり）

③　Off-JT

経年者研修	採用前研修	1講座
	初任者研修	17講座
	初任校（2年目）研修	3講座
	初任校（3年目）研修	2講座
	10年経験者研修	11講座
	養護教諭10年経験者研修	11講座
	幼稚園教諭10年経験者研修	8講座
	15年経験者研修	4講座
	20年経験者研修	3講座
臨採研修	新規臨採研修	3講座
	2年目臨採研修	2講座
	3年目臨採研修	1講座
	4年目以上臨採研修	1講座
課題別研修	教育の情報化セミナー	1講座
	ICTを活用した授業づくり研修	1講座
職能研修	幼児教育研修	1講座
	情報教育担当者研修	1講座
	授業づくり研修（少人数指導担当者等研：各区講座）	

○　社会教育関係研修　テーマ【家庭教育・社会教育の充実と深化】

ネットトラブルから子どもを救う	1講座
校区老人クラブ研修	1講座
子育て支援研修	1講座

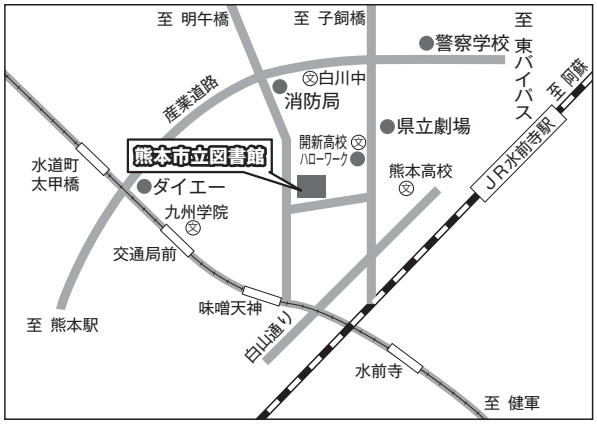
○　学校訪問（初任者配置校を対象）の実施

・小学校　１８校　中学校　１８校　計　３６校

2　熊本市立図書館

〒862-0971　熊本市中央区大江６丁目 1-74
TEL　096-363-4522　　FAX　096-372-4252





特　色

図書館は、本市の教育と文化の発展に寄与することを目的として設置されている。図書館を中心とした公民館図書室と移動図書館からなる図書館サービス網を形成し、市民が利用しやすい図書館運営に努めている。

沿　革

昭和２８年１０月　熊本市立図書館として市公会堂２階に開設
　４５年　４月　移動図書館開設
　５２年　７月　東部公民館図書室開設
　５４年　７月　龍田公民館図書室開設
　５６年　５月　託麻公民館図書室開設
　５６年　９月　熊本市立図書館建設起工式
　５７年　６月　幸田公民館図書室開設
　５７年１１月　熊本市立図書館建設落成式業務開始
昭和５８年　５月　中央公民館図書室開設
　５９年　７月　清水公民館図書室開設
　６０年　８月　秋津公民館図書室開設
　６２年　７月　南部公民館図書室開設
平成　２年　８月　花園公民館図書室開設
　４年　４月　図書館と公民館図書室とのオンライン業務開始
　８年　５月　北部・河内・飽田・天明・五福公民館図書室開設
　１４年　４月　西部公民館図書室開設
　１４年　６月　図書館ホームページを開設
　１５年　６月　市立図書館の開館時間を午後７時まで延長（６月～９月の平日）
　１５年　９月　祝日の開館を開始
　１５年１１月　インターネットからの図書貸出予約の受付開始
　２２年　３月　熊本市と植木町、城南町合併に伴い、植木図書館、隈牟田（城南）公民館図書室を開設
　２３年１０月　くまもと森都心プラザ図書館開設
　２５年　４月　熊本市立図書館の土・日・祝日の開館時間を午後６時まで延長

施　設

○　建築規模　　・構造　鉄筋コンクリート２階建　　・延床面積　５２３０．７６㎡
　　・敷地面積　　５，７２９．６９㎡（第２駐車場１８６１．７３㎡含む）
○　施設構成　　１階　・一般閲覧室・郷土、参考資料室・児童室
　　２階　・ホール・集会室・学習室・事務室
○　全収蔵能力　５０５，０００冊
（一般閲覧室６５，０００冊、児童室２０，０００冊、郷土・参考資料室３０，０００冊、移動図書館４０，０００冊、書庫３５０，０００冊）

【くまもと森都心プラザ図書館】

指定管理者「くまもと森都心プラザ管理運営共同企業体」により管理運営されており、様々な情報を収集し、ニーズに応じて知の発信・交流を支援している。

○　概　要

熊本の陸の玄関口・ＪＲ熊本駅前にある複合施設「くまもと森都心プラザ」の３階、４階にある図書館では、図書コンシェルジュをはじめ図書館のスタッフが、利用者情報、資料等の提供を行っている。また、ビジネス支援センターをはじめプラザ内の他の部門とも連携したサービスを行っている。

インターネットが利用できるパソコンを各フロアに８台ずつ設置しており、パソコンの持ち込みも可能である。また、商用データベースも利用でき、学習室も設置している。

事　業

図書館では、将来にわたり市民が気軽に利用しやすい施設としての基本的な考え方、方向性を示すため「熊本市立図書館の望ましい目標」平成１４年１１月に策定し、「図書館資料の充実」、「図書館サービスの拡充・強化」、「子どもの読書推進」、「推進体制の充実」の４つの基本方針に基づき、「市民から信頼され、親しまれ、そして愛される図書館」の実現に向けた事業を展開している。

（１）図書館資料の充実

ア　資料の選択・収集

一般書、児童書、参考資料、郷土・行政資料などの各分野の基本資料の収集はもとより社会経済情勢の繁華に即応しながら、地域の情報発信機関として図書館づくりを行っていく必要性から①産業能力開発支援関連資料②外国語資料③児童書④郷土・行政資料の４つの分野については重点的に収集している。

イ　資料の整理

閲覧室の開架は資料更新による新鮮度維持に努め、複本整理などにより除籍した資料はリサイクル図書として無償配布し、市民の読書活動に活用されている。また、資料の所在の把握と資料データの正確性を確認するための蔵書点検は毎年実施して資料の整理に努めている。

ウ　資料の保存・継承

郷土、歴史、芸術、科学技術などの記録・資料は、後世に伝えて新しい文化の創造の糧にしていく役割があるとの観点から、資料の保存、継承に努めている。

（２）図書館サービスの拡充・強化

ア　視聴覚及び館外サービス

図書、雑誌、視聴覚資料を収集、整備して市民の利用に供しているほか、視聴覚資料の社会教育団体等への団体貸出、移動図書館による巡回貸出、学校・地域等への図書の団体貸出を行っている。また、植木図書館、１７ヵ所の公民館図書室、くまもと森都心プラザ図書館や男女共同参画センターはあもにいとネットワークを組み、どこの図書館（室）でも貸出し、返却、予約図書の受取りなどができるように連絡調整を行いサービスの充実を図っている。

イ　資料・情報提供サービスの充実

図書館ホームページの開設やインターネットを活用した図書の検索・貸出予約・Web レファレ

ンス事例集・ＳＤＩ（キーワードを登録するとその資料の最新情報をメールでお知らせする）などの資料・情報提供サービスの拡充に努めている。

ウ　利用者対象別サービスの充実

障がい者に対する図書の郵送貸出、高齢者に対する大活字本などの充実、外国人に対する館内案内板を英語併記に変更し、一般閲覧室と児童室に外国語コーナーを設置している。

エ　多様な学習機会の提供

市民の自主的、自発的は学習活動を支援するため、おはなし会、図書展、図書館講座、日曜映画会など自主事業を開催し、多様な学習機会の提供に努めている。

（平成２４年度自主事業）

自主事業の内容	開催回数
読書啓発事業（おはなし会、お菓子作り、人形劇、ﾊﾟﾈﾙｼｱﾀｰ作りなど）	140 回
日曜映画会、子ども映画会、特別上映会、バリアフリー映画会	73 回
図書展	4 回
童話コンクール	1 回
読書感想文コンクール	1 回
図書館講座	7 回
ボランティア養成講座	5 講座
リサイクル図書配布	通年



（３）子どもの読書推進

子どもの「読書離れ」が指摘される中、平成１４年度から市立図書館及び１５公民館図書室と学校図書館で使うことが出来る共通利用図書カードの運用を始めたほか、１６年度からは図書館の物流システムを開始するなど、学校図書館と連携した読書整備を進めている。また、「熊本市子ども読書活動推進計画」に基づき、おはなしボランティアを養成し、ボランティアとの連携によるおはなし会を開催するとともに、地域や学校などで読書活動を推進する民間団体等と連携・協力したおはなし会も市立図書館・公民館図書室などで実施している。この他、よみきかせに役立つ本を紹介する冊子「このほんよんで」を作成・配布するとともに、平成２４年度までに同冊子に掲載する絵本を火の君文化センター健診室ほか５８箇所に配架し、子どもの読書環境の整備に努めている。

（４）推進体制の充実

ア　広報活動の充実

市民の図書館に対する理解と関心を高め、新たな利用者の拡大を図るため広報誌等定期的な刊行や図書館ホームページの内容拡充、地域情報誌による図書館活動 PR などの広報活動の強化、情報提供機能や内容の充実に努めている。

イ　推進組織の充実

予算と服務、施設管理等を行う総務班、本館、くまもと森都心プラザ図書館、16 公民館図書室の選書から納品までの一元管理、館内・館外サービス、学校図書館支援センターを担当する総合

サービス班の２班体制により、図書館業務の効率化と市民サービスの向上に努めている。

利　用

（１）利用案内

ア　開館時間及び休館日

熊本市立図書館 植木図書館	６月～９月（火～金）	午前９時３０分～午後７時
	１０月～５月（火～金）	午前９時３０分～午後６時
	土曜、日曜、祝日	午前９時３０分～午後６時 ※植木図書館は、午前９時３０分～午後５時
	※ホールは午前９時３０分～午後１０時（熊本市立図書館のみ）	
公民館図書室（16）	火曜～日曜、祝日	午前９時３０分～午後５時
富合公民館図書室	火曜～金曜	午前９時３０分～午後７時
	土曜、日曜、祝日	午前９時３０分～午後５時
くまもと森都心 プラザ図書館	月曜～土曜	午前９時３０分～午後８時
	日曜、祝日	午前９時３０分～午後６時

○　休館日

市立図書館、植木図書館、公民館図書室

・月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

・年末年始

・公民館図書室室内整理日

　中央、西部、東部、北部、天明公民館は、毎月第２木曜日

　花園、飽田、幸田、託麻、清水公民館は、毎月第３木曜日

　五福、河内、南部、秋津、龍田、富合、城南公民館は、毎月第４木曜日

・特別整理日（図書館は毎年１４日以内、公民館図書室は毎年７日以内）

くまもと森都心プラザ図書館

　毎月第３水曜日、年末年始、 特別整理日（毎年７日以内）

※休日：国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８）に規定する休日

イ 図書の貸出冊数・期間

区　　分		貸出冊数	貸出期間
個人貸出	熊本市立図書館	全館（室）合わせて 一人１０冊以内	２週間
	植木図書館		
	公民館図書室		
	男女共同参画センターはあもにい		
	くまもと森都心プラザ図書館		
	移動図書館		次回巡回日まで
団体貸出		一回３００冊まで	２ヶ月間

※延滞本がある場合は、延滞本を返却するまでは、新たに貸出・予約ができない。

（２）資料一覧（平成２５年４月１日現在）

ア　蔵書（冊）

市立図書館･BM	植木図書館	公民館図書室							
		東部	龍田	託麻	幸田	中央	清水	秋津	南部
555,905	65,801	31,982	33,765	32,882	29,946	34,947	29,944	31,084	33,448

公民館図書室									プラザ図書館	計
花園	北部	河内	天明	飽田	西部	富合	城南	五福		
29,850	22,628	21,957	21,730	28,969	24,552	51,747	15,222	15,320	187,721	1,299,400

イ　障がいのある人等へのサービス資料

(注)市立図書館蔵書の再掲

点字図書	91 冊
録音図書	3,516 冊
大活字本	2,432 冊

ウ　新聞・雑誌等

新　　聞	16 誌
雑　　誌	513 タイトル
マイクロフィルム	1,430 巻

エ　ＡＶ視聴用資料

ビデオテープ	1,824 枚
Ｄ　Ｖ　Ｄ	516 枚

オ　団体貸出用視聴覚資料及び機材

（資料）		（機材）	
１６ミリフィルム	550 巻	１６ミリ映写機	6 台
ビデオテープ	1,572 本	プロジェクター	1 台
Ｄ　Ｖ　Ｄ	188 枚	ビデオデッキ	1 台

（３）平成２４年度利用状況（平成２５年４月１日現在）

ア　図書利用状況（団体、視聴覚等含む）

区　分	市立図書館（ＢＭ含）	植木図書館（ＢＭ含）	公民館図書室				
			東　部	龍　田	託　麻	幸　田	中　央
登録者数(人)	102,397	6,386	8,080	5,215	5,541	5,957	1,826
貸出者数(人)	181,609	45,451	39,547	26,024	27,696	31,477	12,258
貸出冊数(冊)	906,919	232,013	169,110	114,083	126,523	142,400	45,011

区　分	公民館図書室						
	清　水	秋　津	南　部	花 園	北 部	河内	天 明
登録者数(人)	5,929	4,012	4,771	4,067	2,659	676	1,153
貸出者数(人)	28,620	27,360	16,150	22,426	11,205	2,767	4,899
貸出冊数(冊)	120,524	123,641	68,962	95,257	45,876	10,227	15,981

区　分	公民館図書室					プラザ図書館	計
	飽 田	西 部	富 合	城南（ＢＭ含）	五 福		
登録者数(人)	2,199	3,946	3,224	937	1,594	14,030	184,599
貸出者数(人)	9,707	21,271	24,945	7,862	10,848	123,443	676,073
貸出冊数(冊)	41,053	88,858	127,424	33,310	36,803	505,738	3,049,713

イ　ＡＶ視聴利用状況

利用品名	利用者数(人)
ビデオテープ	858
Ｄ　Ｖ　Ｄ	485
合　　計	1,343

ウ　視聴覚資料・機材利用状況

機　材　名	利用件数(計)
１６ミリ映写機	43
１６ミリフィルム	117
ＤＶＤプレーヤー	31
ＤＶＤソフト	87
プロジェクター	45
ビデオプレーヤー	11
ビデオテープ	74
スクリーン	42

エ　図書館施設利用状況

施設名	利用件数
ホール	162
集会室	234

3　熊本博物館

〒860-0007　　熊本市中央区古京町3-2
TEL　096-324-3500　FAX　096-351-4257

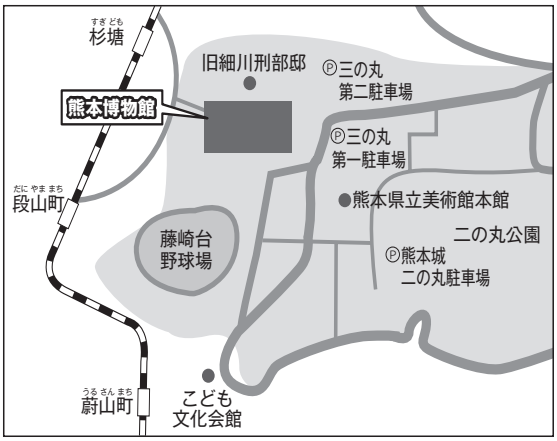


特　色

熊本博物館は、開館から３０数年が経過し、常設展示物や資料の展示環境について、社会の変化と資料保存や展示技術の向上に適確に対応した新たな展開が必要となっている。

そこで、政令指定都市にふさわしく、市民や県民、さらに熊本を訪れる観光客にも親しまれる総合博物館を目指し、平成２５年４月からリニューアルに着手したところである。

沿　革



昭和２７年　２月　熊本博物館開館
（熊本城宇土櫓に第２館として）
２７年　６月　熊本博物館第１館、
旧第六師団司令部跡に開館
３５年　９月　熊本城天守閣落成
熊本博物館分館として発足
３６年　２月　熊本博物館再開館
（花畑　７－１７市勧業館内）
５３年　３月　現在地に新館落成（４月開館）
５７年　９月　元家庭裁判所跡を古京町分室として利用
平成　４年　３月　プラネタリウム機器更新
１５年　９月　祝日開館を開始
１８年　４月　熊本博物館情報システム運用開始
２３年　３月　プラネタリウム機器更新
２５年　４月　リニューアル工事等に伴い休館（常設展示）

事　業

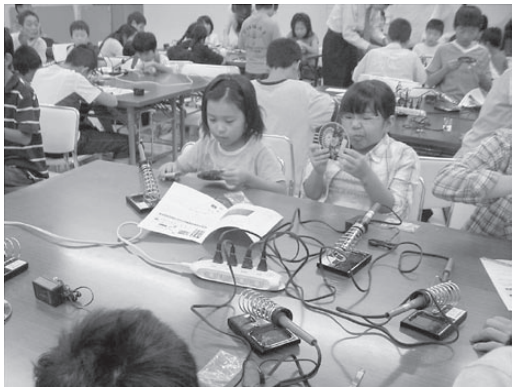
博物館は、展示活動、教育普及活動、資料の収集保存及び調査研究、プラネタリウムの投映等を行い、市民の利用に供している。子どもたちの体験活動やものをつくる喜びを体験する機会を充実させるとともに、子どもたちの夏休みの自由研究等についての相談業務なども行っている。

（１）プラネタリウム
（※リニューアル工事等に伴い平成２５年７月より休止）
・規　　模　　ドーム直径１６ｍ　１８０席
・機器構成　　光学式投映機
全天デジタル映像システム



（２）　平成２４年度各種講座・教室及び館外活動

	行　事　名	内　　容
講座・教室等	子ども科学・ものづくり教室	科学実験やものづくりを通して、自然科学の原理や技術、歴史、伝統文化などを体験的に学ぶ。
	各種講座	考古学・動物学・パソコン教室・歴史民俗資料館講座（古文書講座・考古学講座）・歴史民俗資料館ふるさと教室
	天文教室	プラネタリウムで星座や天文現象等の解説を行う
	ボランティア養成講座	博物館のボランティアの育成
	自由研究相談会	自由研究の相談及び植物等採集物の名付け会
	蓄音器でレコードを楽しむコンサート	収蔵ＳＰ盤（約 5，500 枚）を活用し、月１回のコンサートを楽しむ
館外活動	指導者講習会	教師を対象に理科・社会の現地研修を行う



子ども科学ものづくり教室



自由研究相談会

（３）　展示会（特別展）

２４年度の特別展は、「肥後の博物学―細川重賢の本草学から近代テクノロジーへ―」を実施した。

（４）　展示会（企画展及び共催展）

平成24年度の企画展は、熊本県・米国モンタナ州姉妹提携30周年記念、政令指定都市くまもと誕生記念として「恐竜展 2012 in くまもと」を開催した。

なお、共催展の中で定例的なものは次のとおりである。

○肥後朝顔展　　○市科学展　　○市造形展
○県市技術家庭科展　　○県科学展・発明工夫展　　○熊本市遺跡発掘速報展

（５）　移動博物館

館外展示を行うことで、多くの児童・生徒に博物館資料に触れてもらうことを目的に平成１０年度から実施しており、毎年２校程度で開催している。平成２５年度は、リニューアル工事等のため実施できない。

（６）平成２４年度利用状況

熊本博物館

種別／区別	有料入場者											
	個人			団体			年観覧券			小計		
	大人高校生	中学生以下	計	大人高校生	中学生以下	計	大人高校生	中学生以下	計	大人高校生	中学生以下	計
常設展示	24,522	7,306	31,828	2,807	4,072	6,879	14	0	14	27,343	11,378	38,721
プラネタリウム	29,165	18,986	48,151	1,567	4,118	5,685	—	—	—	30,732	23,104	53,836

種別／区別	無料入場者			総入場者数
	大人高校生	中学生以下	計	
常設展示	167,231	27,499	194,730	233,451
プラネタリウム	2,612	14,451	17,063	70,899

熊本市塚原歴史民俗資料館

種別／区別	有料入場者								
	個人			団体			小計		
	大人高校生	中学生以下	計	大人高校生	中学生以下	計	大人高校生	中学生以下	計
常設展示	1,160	66	1,226	222	20	242	1,382	86	1,468

種別／区別	無料入場者			総入場者数
	大人高校生	中学生以下	計	
常設展示	2,076	1,567	3,643	5,111